

2018.11.1

No. 161

なみえ 議会だより



“復興の螺の音” 鳴り響く～ふたばコールド in なみえ～

9月定例会

定例会	
議案要旨 P 2
議案審議 P 3
採決状況等 P 4
一般質問 P 5～P 10
委員会のうごき P 11～P 13
議会活動報告・補欠選挙 P 14
政務活動費支出状況 P 15
議会報告会のお知らせ P 16～P 17
町民の声 P 18

平成29年度

決算を認定!

一般会計及び9つの特別会計を含めた決算額は、歳入が573億2417万7千円、歳出が544億7354万5千円となりました。

要旨

9月定例会は、9月4日から13日までの10日間を会期として開催しました。

町長からは決算の認定、工事請負契約の変更・締結、土地の処分・取得、補正予算、人事案件など31件、議会からは4件の議案が提出され、これらについて審議を行いました。

審議結果（採決状況）については、4ページに掲載のとおりです。

【主な議案等の内容】

- 工事請負契約の締結で主なものは、**なみえ創成小中学校クラブハウス新築工事**で、同校の敷地内に、談話室、用具室、トイレなどを備えた鉄骨造平屋建てのクラブハウスを新築するものです。
- 土地の処分は、福島県が棚塩地区沿岸に整備する堤防の用地とするため、町が所有する土地を福島県に売却するものです。
- 土地の取得の主なものは、町が整備する浪江町北産業団地の用地とするため、町が土地を購入するものです。
- 補正予算のうち、**一般会計補正予算**は、歳入歳出それぞれ8億5550万円を増額するもので、**歳入**の主なものは**地方交付税**20億8960万1千円及び**繰越金**12億6660万1千円の増額、県支出金が23億5268万2千円の減額、**歳出**の主なものは**商工費**（交流・情報発信拠点施設建築工事費、木材製造拠点整備に係る調査測量設計委託料ほか）8億7920万1千円及び**土木費**（電気自動車用急速充電器開発業務委託料ほか）1億7800万3千円の増額などです。

決算の概要

平成29年度は、浪江町復興計画に位置付ける「本格復興期」の初年度として、ふるさとの再生に向けた取り組みがより本格的に進められました。一方、東日本大震災と原発事故から6年が経過し避難生活が長期化する中で、町民の皆様の生活再建支援や絆の維持についても引き続き重点的な取り組みがなされました。

具体的には、町内の住環境整備として災害公営住宅の完成、子育て環境整備として浪江にじいろこども園及びなみえ創成小中学校の完成、町内でのデマンドタクシーの運行、プレミアム商品券の発行、さらには平成28年度より実施している米の実証栽培に加え、オリーブやエゴマ等の農産物の実証栽培も新たに実施されました。

また、全国各地に避難を続ける町民同士の絆を維持していくために交流館の運営、復興支援員による戸別訪問や交流会の開催、タブレット端末の機能強化などの事業に引き続き力を入れた決算となりました。

決算の認定

認定第1号 決算の認定について

【一般会計】

質問(山崎) 歳入で、固定資産税が大幅に増えている理由と、町内の土地の評価はどうなっていますか。

歳出で、社会福祉協議会補助金が増額している理由、防災行政無線戸別受信機貸借事業は昨年度に比べて大幅に増額となっているが、防災行政無線は町内全域をカバーできていますか。

住民課長 平成29年度から、償却資産の減免が終了したことによる固定資産税の増額です。また、町内の土地の評価は、震災前に比べて宅地で平均50%評価額が下落しています。

介護福祉課長 社会福祉協議会補助金は、町から派遣している職員が1名増加したことによる増額です。

総務課長 現在、一部地域で聞こえない状況となっております、これを解消するため、今年度の補正予算として改修設計の予算を計上しております。これにより、順次、聞こえない地域が解消されていくものと考えております。

質問(馬場) ①マイナンバーカードの発行件数と個人情報流出等のトラブルはありましか。

②重度障がい者支援事業及び町内サポートセンター事業の利用人数が少ないのではないですか。

③甲状腺検査事業の受診者が年々減ってきていますが対策はどうされていますか。また、検査継続について県に求めるべきではないですか。

④町営住宅について、被害調査を実施していますか。また、町営住宅入居者も被災者生活再建支援金の対象となるのではないですか。

住民課長 マイナンバーカードの発行件数は、3月末現在で1792件の交付となっております。また、個人情報流出をはじめとしたトラブルについてはございません。

介護福祉課長 重度障がい者支援事業については、基本的には医療費が減免となっておりますので、減免から外れた費用について助成しております。また、町内サポートセンター事業の利用人数が伸びない理由としては、避難先で既に介護保険サービスを利用されている方は、これまでにサービスを受けていた事業所をなかなか替えられないなどの要因が考えられます。

仮設津島診療所事務長 甲状腺検査受診者の減少対策として、内部被ばく検査の受診も含めて、定期的に広報紙並びにホームページで周知を図っております。

町長 甲状腺検査の継続については、町民の安心のために、中長期にわたって制度の継続を県に求めていると考えております。

住宅水道課長 町営住宅の被害調査は、津島住宅を除きすでに実施済みです。すべて半壊との結果が出ております。被災者生活再建支援金制度では、半壊の場合、解体が終わってから基礎支援金及び加算支援金の対象となります。

《反対討論》(馬場) 決算質疑でも明らかになりましたが、マイナンバーの発行件数が町民全体の10%にとどまっていることは、町民はその必要性を感じていないということです。これを広げれば広がるほど個人情報の漏えいが懸念され、議会の立場から問題ありという立場を明確にして、反対の態度を明確にするものであります。

(賛成多数で認定)

《反対討論》(高野) 本案は、用地買収を急ぐ余りに農業委員会の認可が出る前の議案上程で、見切り発車の感が

否めず、行政監視の立場としての議会のモラルが問われるとの思いから、反対の意思表示をして議員各位の皆様方の賛同を求め、反対の討論といたします。

(賛成多数で可決)

土地の取得

議案第73号 土地の取得について

《反対討論》(高野)

本案は、用地買収を急ぐ余りに農業委員会の認可が出る前の議案上程で、見切り発車の感が

否めず、行政監視の立場としての議会のモラルが問われるとの思いから、反対の意思表示をして議員各位の皆様方の賛同を求め、反対の討論といたします。

(賛成多数で可決)



9月定例会の採決状況 (9月12日～13日採決)

議案番号	件名	議決結果
承認第11号	専決処分の承認を求めることについて(平成30年度浪江町一般会計補正予算(第2号))	承認
認定第1号	決算の認定について	認定
認定第2号	浪江町水道事業会計決算の認定について	認定
議案第66号	工事請負契約の変更について(いこいの村なみえ太陽光発電設備設置工事)	原案可決
議案第67号	工事請負契約の締結について(本庁舎改修工事(第1期))	原案可決
議案第68号	工事請負契約の締結について(川添ため池環境保全整備工事)	原案可決
議案第69号	工事請負契約の締結について(請戸漁港水産業共同利用施設整備工事(上架施設))	原案可決
議案第70号	工事請負契約の締結について(浪江町幾世橋災害公営住宅太陽光発電等設備工事)	原案可決
議案第71号	工事請負契約の締結について(なみえ創成小中学校クラブハウス新築工事)	原案可決
議案第72号	土地の処分について	原案可決
議案第73号	土地の取得について	原案可決
議案第74号	土地の取得について	原案可決
議案第75号	土地の取得について	原案可決
議案第76号	土地の取得について	原案可決
議案第77号	土地の取得について	原案可決
議案第78号	平成30年度浪江町一般会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第79号	平成30年度浪江町文化及びスポーツ振興育成事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第80号	平成30年度浪江町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第81号	平成30年度浪江町国民健康保険直営診療施設事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第82号	平成30年度浪江町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第83号	平成30年度浪江町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第84号	平成30年度浪江町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第85号	平成30年度浪江町財産区管理事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第86号	平成30年度浪江町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第87号	平成30年度浪江町水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
同意第2号	特別功労者の決定について	同意
報告第4号	財団法人福島なみえ勤労福祉事業団の経営状況報告について	報告
報告第5号	一般社団法人まちづくりなみえの経営状況報告について	報告
同意第3号	教育委員会委員の任命について	同意
同意第4号	教育委員会委員の任命について	同意
請願第3号	国に対し「学校給食費の無料化を求める意見書」提出についての請願	採択
請願第4号	県に対し「学校給食費の無料化を求める意見書」提出についての請願	採択
発議第2号	学校給食費の無料化を求める意見書	原案可決
発議第3号	学校給食費の無料化を求める意見書	原案可決
	委員会の閉会中の継続審査又は調査について	決定

※意見書は、国(発議第2号)と県(発議第3号)に対し学校給食の無料化を強く要請する内容で、それぞれ関係機関に送付しました。

9月定例会で同意した人事案件

○特別功労者の決定について

(敬称略)

特別功労者として次の方々を決定することに同意しました。

氏名	生年月日	住所
(故)馬場 有	昭和23年11月17日	浪江町大字権現堂字下続町25番地6
高橋 昭渡	昭和5年1月17日	浪江町大字津島字東館16番地
小丸 哲也	昭和5年5月25日	浪江町大字小丸字下平12番地

○教育委員会委員の任命について

教育委員会委員として次の方々を任命することに同意しました。

氏名	生年月日	住所
笠井 淳一	昭和32年6月5日	福島市大平寺字埝屋敷92番地の14
熊田 伸一	昭和28年1月27日	浪江町大字請戸字芝草10番地

5 議員が質問

■高野 武

- (1) 町内各校の建物、備品、校庭のこれからの取扱いは
- (2) 伝統芸能保存への取り組みと、町内旧家と各地区に残る文献等の保存への取り組みは
- (3) 震災復興祈念公園との関係で、請戸小学校の取り扱いの位置付は
- (4) 中心市街地の復興と景観への配慮と規制の考えは

■松田 孝司

- (1) 重点政策について
- (2) 帰町して感じた事
- (3) 帰町に当たって

■渡邊 泰彦

- (1) 国道114号線の拡幅及び“道の駅なみえ”について
- (2) いこいの村のオープン後の状況について
- (3) 浪江駅周辺の再開と“まちづくりなみえ”について

■山崎 博文

- (1) 町長の1期目の施政方針について
- (2) 東電からの町に対する見舞金と東電と町との今後の関係について
- (3) 町政の課題とその対応について
- (4) 町税等の来年度の考え方について
- (5) 住民票等のコンビニ交付について

■馬場 績

- (1) 復興・再生の今後の問題について
- (2) 帰還困難区域拠点整備事業の現状について
- (3) 浪江中学校の再開継続について
- (4) 子育て・教育の拡充について
- (5) 水道法改正案の民営化問題について
- (6) 第二原発廃炉・放射能汚染水放出について

一般質問

町政と問う

このページには、質問した議員の質問事項が掲載されています。議会だよりに掲載する一般質問の内容は、紙面の構成上、1議員の質問・答弁を合わせて1000文字程度に要約しておりますので、ご了承ください。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求め、政治的姿勢を明らかにするものです。そのことにより、現行政策の変更、是正あるいは新規政策の採用などの効果があります。

● 高野 武 議員 ●



Q 請戸小学校は、今後保存するのか

A 国、県と協議中です



請戸小学校は震災遺構になるのか

質問 復興祈念公園の概要が発表になりましたが、学校保存に關しての事業主体はどこになるのか伺います。

副町長 事業主体は決まっておりませんが、災害伝承エリアとしての保存を考えての要望活動をしまして、基本計画に載せていただきました。

質問 保存することになっても、町独自の財源確保は難しく、その費用はどこで負担するのか伺います。

副町長 保存する場合には、国、県に対して、維持管理に關する財源を求めたいと考えております。

伝統芸能、古文書（文献）について

質問 町内各地区に残る、古文書等の確認と取扱いについて伺います。

教育長 平成26年からは家屋解体に伴う消失、盗難から守るために、役場や建物解体申請の窓口にチラシ等を配付して、これまで19件の保護・保全活動をおこなってまいりました。今後も継続して取り組んでまいります。

質問 町内に残る伝統芸能などの団体数と補助金支出の状況はどうなっていますか。また、記録保存への取り組みを伺います。

教育長 震災直前で民俗芸能は25団体を確認し、震災後に実態調査したところ、19団体からの回答があり、実際に活動している団体はごく一部です。補助金支出は8団体11種目でございます。また、再開を目指す団体には、補助金の創出や再開が難しい団体の用品保管を実施し、これまで通り記録保存、継承に取り組んでまいります。

学校備品について

質問 各学校に残る机、図書等の放射線の計測と今後の取扱いについて伺います。

教育長 子供達の私物返却の際は、計測し問題が無いので返しました。備品は貴重な物を除き、線量計測の上、再利用か廃棄か検討いたします。

建物解体について

質問 町中心市街地内の建物解体申請件数とその割合を伺います。

企画財政課長 申請件数は800件を超えており、割合は5割に近いと捉えております。

● 松田 孝司 議員 ●



Q 復興・復旧に向け、東京電力に協力を要請する考えは

A 適切な時期に必要なことがあれば要請を行います

質問 東京電力の現地事務所が、富岡町から双葉町中野地区に移転すると聞いていますが、後背地であるわが町にも宿泊施設や関連会社などの事務所や寮など宿泊施設などができ、人口の増加や商業の発展につながるのではないかと思います。町の復興・復旧に向け、今後東京電力に協力を要請する考えはありますか。

町長 現在、東京電力では、家屋の清掃・ごみの片づけ、進入路の除草、あるいは墓地の除草等活動が行われています。これらの町民生活に直接関わる活動については、今後とも継続を求めています。

町との関係に関しては、東京電力には、この原子力災害の加害者の責任として、町民の支援はもとより、当町の復興・復旧に、様々な形で支援・協力することは当然だと考えていますし、常にそのような姿勢で向き合っています。適切な時期に必要なことがあれば要請を行いたいと考えています。

帰町された方のコミュニティをどう保つのか

質問 帰町された方が805名、現在の行政区では対応できないのが現実ではないかと思っています。今までの行政区も、絆の維持には確かに必要だと思いますが、帰町された方がいかにコミュニティを保つのか考えて行かなければならないのではと思います。どう考えていますか。

総務課長 帰還された町民の皆様、町内に居住される皆様のコミュニティの構築は、重要な課題だと認識しています。今年度より「町内コミュニティ再生支援事業」を実施し、町内に「地域づくり支援専門員」を配置して、町内に帰還または新たに居住されている町民の皆様や各行政区長のもとを訪問して、町内のコミュニティを再生するお手伝いをする事業を行っています。既に町内居住者の個別訪問の



避難指示解除後、未だ維持管理が行き届いていない公共施設

ほか、各行政区長のところを訪問して課題の洗い出し等を行っているところですが。

帰町して何か恩恵、優遇政策はあるのか

質問 帰町してみると、避難前と違い野菜を作るにも電気柵など、余計な出費が出て、ゴミ袋にしても大袋1枚50円します。避難先の大半の市町村では10枚で200円ちょっとで半額以下で買えます。それなりにある程度半額補助とか恩恵を考えるべきではないかと思えます。古里に帰ってデメリットばかりじゃなく、どういうメリット、何か恩恵、優遇政策が有りますか。

企画財政課長 メリットと言いますが、町への帰町を促す支援として、住環境整備のためには引越し費用、あるいは住宅リフォーム、ハウスクリーニング等の助成、生活用品等の購入補助として、プレミアム付商品券の発行、さらにはデマンドタクシーの運行を行っているところです。

● 渡邊 泰彦 議員 ●



Q 国道114号拡幅と“道の駅なみえ”の進捗状況は

A 工程的な遅れは出ないと考えています

質問 国道114号拡幅工事完了後の開通予定は平成32年度になっていきます。同じく“道の駅なみえ”のオープン予定も平成32年度になっていきます。両事業とも工程的な遅れはありませんか。

まちづくり整備課長 国道114号の拡幅工事のための用地取得及び家屋解体については、部分的に完了しているゾーンもあり順調に進んでいます。また“道の駅なみえ”建設のための用地取得及び家屋解体については、現在交渉を進めており、工程的には遅れは出ないと考えています。

産業振興課長 交流・情報発信拠点“道の駅なみえ”は、平成31年度に造成工事・建設工事・外構工事を完了させる予定です。現在、平成32年度のオープンに向けて工程を進めております。

“いこいの村なみえ”のオープン後の利用状況について

質問 6月14日にオープンした日帰り入浴及び、6月20日オープンした宿泊施設の利用状況は、町の当初計画と比較してどのように推移していますか。また、入浴者・宿泊者への食事の提供やバーベキュー利用者への食材の提供については、どのような対策を考えていますか。

産業振興課長 日帰り入浴利用者は、現在は1日平均25人です。宿泊施設利用者に関しては、目標として5年後に50%の稼働

率を考えています。初年度は10%稼働率を目標としており、現在の稼働率は25%です。町の当初計画を上回っています。また食事の提供については、レストラン・厨房を建設するための交付金や助成金を探しています。いずれにしても食事の提供、食材の提供ができるように計画しております。



“道の駅なみえ”建設予定地

浪江駅周辺の再開発の計画と駅舎機能について

質問 現在の浪江駅周辺は、家屋解体が進み空き地になっています。2020年度のJR常磐線の全線開通までの再開発は難しいのが現状です。JRと合同で、町の南北を結ぶ自由通路と駅舎機能を一体化した“橋上駅”にして北口と南口を設置して、浪江スポーツセンターや今後改修が計画されている、旧ふれあいセンター・グラウンド・旧コスモス保育園を早期に整備して、浪江町の顔にすべきと考えますが、どのように考えていますか。

企画財政課長 南北自由通路と橋上駅の建設には、かなりの予算が必要となるため、様々な交付金の検討はいたしますが、かなり難しいと考えています。

産業振興課長 様々なイベントや駅前を利用した事業を展開しにぎわいを取り戻すため、駅前に“一般社団法人まちづくりなみえ”を開設しました。2020年のJR常磐線の全線開通に向けて、浪江駅前が顔になるように様々な施策を進めていきたいと考えています。

● 山崎 博文 議員 ●



Q 任期4年間の施政方針は

A 復興計画の実現、復興・創生期間終了後の財政問題の解決が私の使命と考えております

質問 選挙期間中には各候補者の考えや訴え等を一覧にした「選挙公報」が送付されています。選挙公報を踏まえ、抱負も含めた任期4年間の施政方針について、お聞かせいただけますか。

町長 今回の選挙におきましては、馬場前町長が進めてこられた「まちのこし」の意思を継承することを訴えてまいりました。やはり基本となるのは、浪江町復興計画第2次であり、ここに掲げられた施策を着実に推進していくことだと考えております。まずは、復興計画の実現、復興・創生期間終了後の財政問題の解決が私の使命であると考えております。

東電見舞金の受取りの考えは

質問 東電から原発事故後、町に対し2千万円の見舞金が表示されました。この見舞金を受け取り、町復興のための財源として有効に使うべきではないかと思いますが、ご所見をお伺いいたします。

町長 行政に対してではなく、直接町民に対する支援の方法の一つとして考えるべきであって、それを東電が提示するべきだと考えております。

町税等の来年度の考え方は

質問 次に挙げる項目の来年度の考え方について、お伺いいたします。
1、町民税及び固定資産税の減免について
2、住民票等の各種証明書発行手数料について
3、上下水道料金の免除について

住民課長 税の減免については、現時点では未定となっております。また、各種証明書の発行手数料は来年4月から徴収していくことで進めていきたいと考えております。

住宅水道課長 来年度の上水道料金の減免については、今後の情勢を鑑みながら判断してまいりたいと思っております。

町政の課題とその対応は

質問 買い物環境整備は、今までと同じ再開・進出のためのアプローチでは期待できるものではありません。町独自の支援など発想の転換が必要ではないかと思いますが、いかがお考えでしょうか。

産業振興課長 住民のみならず、学校給食者や再開事業者が材料を調達する際に、そういったものを支援するなどということも検討しながら、発想の転換をもったアプローチも必要と認識しております。

質問 平成29年度から平成32年度までの町中心市街地再生実施計画を昨年3月に策定しましたが、1日も早い「目に見えた復興施策の具現化」が求められています。計画の前倒しをすべきではないかと思いますが、いかがでしょうか。

企画財政課長 中心市



具現化が求められる中心市街地の再生

街地の施策の具現化を図るため、地権者や地元行政区、関係機関等との協力と、財源の確保が必要であると考えております。そのため、復興庁をはじめ、国、関係機関等との事業手法、財源協議等踏まえ、できるだけ早期に方向性を打ち出しながら対応してまいりたいと考えております。

● 馬場 績 議員 ●



Q 復興・創生期間はあと2年6カ月
責任と権限ある「復興庁」の後継組織を求めよ

A 財源が確保される法的組織を求めています

質問 『復興庁』のその後をどうするのか。町は勿論、町民にとって復興・再生が実現するまで、政府も、政治も最後まで責任を果たすことが大前提だと思います。浪江町の財政への影響も重大であり、福島特措法をベースにした後継組織を求めていくべきだと思います。

本問副町長 後継組織は法律に基づいたものが必要です。町も県も財源も確保される組織の在り方を復興庁に求めています。

**水田作付けは震災前の0・5%でしかない
「7次提言」の「総仕上げ」の実態を問う**

質問 7月末に自民・公明党が発表した「7次提言」では「甚大な被害を受けた地域においても復興の「総仕上げ」の段階に向かって進んでいる。」と書かれています。では、浪江町の水田再開の現状と、農林水産の販売の現状はどうなっていますか。

農林水産課長 本年度の水稲作付面積は6haで震災前の0・5%です。平成22年度の農林水産産出額は43億6千万円、昨年の農業は900万、水産部門は8500万で合計9400万円でした。

質問 商工業の現状はどこまで回復しましたか。

産業振興課長 震災前は商工業で292億円、工業では374億でした。震災後は金額での比較はできない状態です。小売業は商圏の消失や従業員確保の問題など、再開そのものが困難な状況にあります。

**「南津島JA草地」への
帰還困難区域の汚染土壌
全域搬入
仮置き場設置計画の見直し・撤回を**

質問 仮置き場設置の基本は地元保管です。しかし室原、大堀地区で仮置き場の話し合いは行われておりません。中間貯蔵施設直送を優先させ、「南津島JA草地」に仮置き場設置と

帰還困難区域全域の搬入計画を見直し、撤回すべきではありませんか。

住民課長 町は環境省とともに（南津島JA草地への）設置に向け協議を進めているところです。



津島の山頂にある仮置き場予定地
見直し・撤回は住民の声

委員会のうごき

● 総務常任委員会からの報告 ●

総務常任委員会は、総務課、企画財政課、住民課、生活支援課、津島支所、出納室が所管する案件を審議しています。

委員長／山本幸一郎 副委員長／紺野則夫 委員／大浦泰夫、渡邊泰彦、紺野榮重

■ 総務課 ■ 防犯見守り隊

問 防犯見守り隊からは報告はどのようになっていますか。

答 日報を毎日提出いただいております。有害鳥獣、不審者、家屋損壊情報などがあり、警察署や所有者などに連絡しています。

■ 総務課 ■ 防災行政無線

問 防災行政無線が聞こえない地域がありますが、どのような対応を考えていますか。

答 改修に係る財源確保の目途が立ちましたので、補正予算を計上しました。今後は徐々に聞こえない地域が解消されていくものと思います。

■ 生活支援課 ■ 復興支援員

問 復興支援員は昨年度とどう変わりましたか。

答 昨年度は7団体（支援員22名）にお願いしましたが、今年度は1団体（支援員17名）で実施しています。1団体でやることで、指示伝達のスピードアップや情報共有がしやすくなりました。

■ 総務課 ■ ADR集団申立て

問 ADRが打ち切りになりましたが、その後の動きはどうなっていますか。

答 集団訴訟を考えている町民の方々と支援弁護団が原告団の結成を進めています。また、個別ADRへ切り替える町民の方々への対応については、現在弁護士と協議を進めております。

■ 企画財政課 ■ 中心市街地

問 UR（都市再生機構）に委託していた中心市街地の計画案策定はどのようになっていますか。

答 実施計画を策定しましたが、現在もUR、復興庁と特に駅前の整備について協議を進めております。

■ 企画財政課 ■ 役場敷地の環境整備

問 役場敷地内の環境整備はどのように実施していますか。

答 各課にエリアを割り振って、年2回程度環境整備を職員が行っています。今後も環境美化に努めてまいります。

■ 住民課 ■ ガンマカメラによる測定

問 ガンマカメラによる測定の実施状況はどうなっていますか。

答 昨年度の測定実施件数は2372件です。測定値が毎時1マイクロシーベルト以上でフォローアップ除染を行ったのは64件です。

●産業・建設常任委員会からの報告●

産業・建設常任委員会は、産業振興課、農林水産課、住宅水道課、まちづくり整備課、農業委員会が所管する案件を審議しています。

委員長／平本佳司 副委員長／高野 武 委員／山崎博文、佐々木恵寿、馬場 績

■産業振興課■ いこいの村

問 子供達も宿泊する「いこいの村」の遊歩道は除染していますか。

答 施設付近は除染済ですが、未除染の所がまだありますので、環境省に除染するよう求めています。

■産業振興課■ 光熱費補助

問 町内再開事業者の光熱費の補助はいつまで続きますか。

答 平成31年度まで考えています。

■住宅水道課■ 浄化槽補助

問 浄化槽補助は、撤去費用、新設費用の両方で使えますか。

答 浄化槽の種別（単独・合併）、被災状況にもよりますが、両方で使える場合もあります。

■農林水産課■ ため池除染

問 川添ため池除染の作業内容はどのようなものですか。

答 表面を約20cm取り、8000ベクレルを超えていれば再度除染を行い、水分除去し、環境省の責任で運搬します。

■まちづくり整備課■ 津波被災地家財購入補助

問 復興公営住宅入居者にも半額程度の補助ができるよう、要綱を見直す考えはありますか。

答 町単独の補助であっても、国の基準に準じるので、現行では要綱の見直しは考えておりません。

■まちづくり整備課■ 災害公営住宅集会所

問 幾世橋住宅団地集会所は、戸数、人数の割に狭いのではないですか。

答 県の仕様基準によるものです。

■まちづくり整備課■ EV車充電スタンド

問 EV車（電気自動車）充電スタンドの予算で、現状では公用車しか使えず、民間への開放の考えはありますか。

答 今後の検討課題とします。

● 文教・厚生常任委員会からの報告 ●

文教・厚生常任委員会は、教育委員会、健康保険課、介護福祉課、浪江診療所、仮設津島診療所が所管する案件を審議しています。

委員長／佐藤文子 副委員長／石井悠子
委員／半谷正夫、佐々木勇治、松田孝司、泉田重章

■ 教育委員会 ■ 桜の伐採

問 なみえ創成小中学校のグラウンド整備時、桜の木をどうして伐採したのですか。

答 除染である程度の線量は低減されましたが、保護者等の不安を取り除く目的で伐採させていただきました。

■ 教育委員会 ■ 成人式

問 成人式をいつ開催予定ですか。また、夏に変更する予定はありますか。

答 1月12日を予定しております。なお、夏に変更する予定はありません。

■ 教育委員会 ■ 他校との交流

問 なみえ創成小中学校は少人数であるため、南相馬市などとの交流は考えていますか。

答 部活動での交流は実施しており、それ以外での交流も検討してまいります。

■ 教育委員会 ■ なみえ創成小中学校クラブハウス

問 建設に係る財源と利用計画はどうなっていますか。

答 財源は、国の福島再生加速化交付金です。利用については、スポーツの際のミーティング、地域活動等の集会施設、さらには外から利用できるトイレとして利用していただくことを想定しております。

■ 教育委員会 ■ 放射線測定

問 なみえ創成小中学校、にじいろこども園の放射線測定は、どなたがやっているのですか。

答 なみえ創成小中学校は教頭先生、にじいろこども園は先生方みなさんで測定しています。

■ 教育委員会 ■ 子ども医療費助成

問 子ども医療費の助成はどうなっていますか。

答 0歳から18歳までは、医療機関窓口で受給者証を提示すれば無料となります。医療機関に支払いされた場合でも、町に請求していただければ、後日お支払いいたします。

■ 仮設津島診療所 ■ 甲状腺検査

問 40歳以上の方が検査する場合、費用負担はどうなりますか。

答 有料での検査となります。料金は医療機関にもよりますが、予約していただければ、仮設津島診療所では4000円で検査しております。

議会活動の経過報告 7月16日～10月15日

(定例会及び臨時会中の全員協議会・各委員会を除く)

7月

- 17日 ・議会運営委員会
- 20日 ・全員協議会

8月

- 6日 ・議会運営委員会
- 17日 ・全員協議会
・議会報編集特別委員会
- 21日 ・双葉地方広域市町村圏組合議会・総務
常任委員会 (富岡町)
・双葉地方町村議会議長会 (富岡町)
- 22日 ・双葉地方広域市町村圏組合議会・保健
衛生常任委員会 (富岡町)
・福島県町村議会議長会正副議長研修会
- 23日 ・双葉地方広域市町村圏組合議会・消防
厚生常任委員会 (富岡町)
- 28日 ・議会運営委員会
- 31日 ・双葉地方広域市町村圏組合・議会運営
委員会 (富岡町)
・双葉地方広域市町村圏組合・定例会
(富岡町)

9月

- 4日 ・9月定例会(～13日) ※1
- 18日 ・議会改革に関する研修会
・双葉地方町村会・議長会合同要望
(東京都)
- 25日 ・議会報編集特別委員会視察研修
(～26日まで
岩手県金ヶ崎町、宮城県七ヶ浜町)

10月

- 1日 ・議会報編集特別委員会
- 3日 ・議会運営委員会
・愛知県半田市議会行政視察対応
- 5日 ・議会報編集特別委員会
- 9日 ・第3回臨時会 ※1
・議会報編集特別委員会
- 10日 ・鹿児島県肝付町議会行政視察対応
- 15日 ・文教・厚生常任委員会視察研修
(～16日まで長野県軽井沢町)

※1 本会議の出欠状況は、町ホームページ(浪江町議会→会議結果一覧)をご覧ください。

議会運営委員会委員

欠員となっていた議会運営委員会委員に、渡邊泰彦議員が選任されました。

双葉地方 広域市町村圏組合 議会議員

欠員となっていた双葉地方広域市町村圏組合議会議員に、佐々木恵寿議員が選出されました。

浪江町議会議員補欠選挙

8月5日に執行された浪江町議会議員補欠選挙において、大浦泰夫氏が当選されました。

なお、大浦議員が所属する常任委員会は総務常任委員会となりました。



■大浦泰夫議員の連絡先■

〒961-8031
福島県西白河郡西郷村大字米字向山138-3
電話 090-2603-2085

みなさまの声を聞かせ下さい。

議会報編集特別委員会では、町民の皆様の声を「議会だより」に掲載しています。議会に対する意見、要望、感想等、何でも結構ですので、声をお寄せください(議会事務局まで)。なお、陳情・請願をされる場合は、「浪江町ホームページ⇒浪江町議会⇒請願・陳情の仕方」にその方法を掲載していますので、これを参考にしてください。

政務活動費支出状況（平成29年度分）

政務活動費とは、議員が実施する調査研究、研修、各種会議への参加などにより、町政の課題及び町民の意思を把握し、町政に反映させる活動や住民福祉の増進を図るために必要な活動（政務活動）に要する経費に対して、議員個人に交付されるものです。なお、議員からの申請により交付されます。

交付基準は、次のとおりです。

1. 交付額1月当たり 5,000円
2. 政務活動費を充てることができる経費の範囲は、下の表のとおりです。

経 費	内 容
調 査 研 究 費	議員が行う町の事務、地方行財政等に関する調査研究（視察を含む。）及び調査委託に要する経費
研 修 費	1 議員が行う研修会、講演会等の実施（共同開催を含む。）に要する経費 2 団体等が開催する研修会（視察を含む。）、講演会等への議員及び議員の雇用する職員の参加に要する経費
広 報 ・ 広 聴 費	議員が行う活動の広報・広聴活動に要する経費
要請陳情等活動費	議員が行う要請陳情活動、住民相談等の活動に要する経費
会 議 費	1 議員が行う各種会議、住民相談会等に要する経費 2 団体等が開催する意見交換会等各種会議への議員の参加に要する経費
資 料 作 成 費	議員が行う活動に必要な資料を作成するために要する経費
資 料 購 入 費	議員が行う活動のために必要な図書、資料等の購入、利用等に要する経費
事 務 費	議員が行う活動に係る事務の遂行に要する経費
人 件 費	議員が行う活動を補助する職員を雇用する経費

● 支出内訳

議 員 名	石井 悠子	紺野 榮重	紺野 則夫	佐々木勇治	平本 佳司	渡邊 泰彦
交 付 額	55,000	60,000	55,000	55,000	55,000	60,000
支 出 額	調 査 研 究 費			86,915		99,815
	研 修 費					
	広 報 ・ 広 聴 費	57,511	120,872		55,584	
	要請陳情等活動費					
	会 議 費					
	資 料 作 成 費					7,560
	資 料 購 入 費					
	事 務 費					
人 件 費						
合 計	57,511	120,872	86,915	55,584	0	107,375

議 員 名	佐々木恵寿	山本幸一郎	泉田 重章	吉田 数博	馬場 績	三瓶 宝治	
交 付 額	60,000	55,000	55,000	55,000	55,000	5,000	
支 出 額	調 査 研 究 費	99,815	99,815	99,815	99,815	15,854	5,976
	研 修 費					31,000	
	広 報 ・ 広 聴 費					122,578	
	要請陳情等活動費					16,220	
	会 議 費						
	資 料 作 成 費					130,277	
	資 料 購 入 費	5,400				59,448	
	事 務 費					10,080	
人 件 費							
合 計	105,215	99,815	99,815	99,815	385,457	5,976	

※平成29年4月30日任期満了につき、交付額に差異が生じております。

紺野榮重議員は5,000円、平本佳司議員は55,000円を未使用分として返金しております。

皆さまの声をお聞かせください

議会報告会

浪江町議会報告会を開催します

浪江町

平成30年

日程

11月3日(土)

13:30~15:30

会場

地域スポーツセンター
「秋桜アリーナ」会議室
浪江町大字権現堂字下馬洗田 5-2
(JR浪江駅裏南側)

内容

国への要望活動状況報告
町民の皆さまからの意見・
提言等
(内容は浪江町外会場も同様になります)

議会報告会は、町民と議会を身近なものとし、議会の活動状況や情報の提供を行いながら、皆さまからの議会に対するご意見をいただく大切な機会です。

多くの町民の皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

☎浪江町議会事務局 ☎0240(34)0254

浪江町外の会場については、次ページをご覧ください。

どの会場でも駐車場には限りがありますので、公共交通機関の利用や、お車を乗り合わせてのご来場をお願いいたします。

また、会場によっては有料駐車場をご利用いただくこともありますので、予めご了承ください。



浪江町外の会場と日程

二本松市

11月14日(水) 13:30~15:00

会場 浪江町役場二本松事務所
二本松市北トロミ 573



福島市

11月16日(金) 14:30~16:00

会場 あつまっぺ交流館
福島市方木田字谷地 13-7



いわき市

11月17日(土) 13:30~15:00

会場 なみえ交流館
いわき市常磐上矢田町叶作 13-3



つくば市

11月18日(日) 10:00~11:30

会場 つくば市役所
2階防災会議室
茨城県つくば市研究学園1丁目1-1



郡山市

11月20日(火) 10:30~12:00

会場 コスモスふれあいセンター
郡山市七ツ池町 26-20



岩沼市

11月27日(火) 13:30~15:00

会場 いわぬま市民交流プラザ
2階多目的室
宮城県岩沼市館下2丁目3-1



町民の声



避難後の 浪江町民の 健康状態の概要



二本松市内にある仮設津島診療所長
関根 俊二さん

早いもので震災・原発事故で避難してから7年半の歳月が流れました。この間、町民の皆さんには過酷な避難生活を強いられ、生まれ育った故郷を失い、その失意は想像を絶するものがある。

町民の健康状態を避難生活直後から診てきた関係から、その変化には驚くばかりである。まず原発事故の避難開始

直後には東京電力の「安全神話」を信じ、避難方法手順、避難場所の準備計画が全く無かったため病弱者の尊い命が犠牲になったことは残念である。避難生活に入ってから「これから先どうなるのか？」という精神的不安、居住環境の悪化と変化によるストレス、肉体的疲労などにより既往症の生活習慣病の悪化、不眠症の発症、特にストレスと食生活の管理が不十分で高血圧症・糖尿病・高脂血症・高尿酸血症などの悪化がみられました。また居住環境の悪化で整形外科疾患である頸肩腕症候群・腰痛症・変形性膝関節症の著しい悪化があった。高齢者においてはこれら既往症に加え、今まで元気に農作業や自営業の手伝いなどをしてきたことが全く出来なくなり、徐々に廃用症候群（いわゆる生活不活発症候群・認知症）に移行していく方が増加していった。更に現役の就労者が職場を失い、アルコールに走り、不規則な生活習慣や運動不足

などからアルコール依存、生活習慣病の発症という経過をとっていった。子供たちの中には精神不安などから登校拒否となったものもいてメンタルケアが必要な場合もあった。避難生活が長期化すると既往症の生活習慣病は治療により少しずつ改善傾向にはあったが、高齢者の廃用症候群、認知症はさらに悪化して、罹患者も増加して行った。また就労者であった方々の生活習慣病やアルコール依存も増加の一途であった。

現在、7年半を経過した時点では生活習慣病で治療されていた方々は大部分落ち着いてきているように思われます。また一時、居住環境の悪化で肩痛・腰痛・膝痛で治療されていた方も落ち着いてきました。しかし、高齢者の廃用症候群・認知症の方々は合併症で亡くなった方もおられ、未だに廃用症候群の発症と悪化がみられ、原発事故前の生活に戻れないことが大きな要因としてあげられる。

編集後記

昨年の3月31日に、帰還困難区域を除き避難指示が解除され、すでに1年半が経過しました。故郷浪江町には、少しずつにぎわいが戻っています。十日市、双葉ワールド、野馬追、まるしえの日、夏祭り花火大会などが開催され、多くの町民が楽しんでいます。

故馬場有前町長は、何よりも町民が喜ぶ顔を見るのが大好きでした。議会も町民が楽しく過ごせる、絆が深まるような施策を推進していきたいと思えます。

発行責任者

議長 長 紺 野 榮 重

議会報編集特別委員会

委員長 長 渡 邊 泰 彦

副委員長 半 谷 正 正 夫

委員 石 井 悠 則 博

委員 高 野 則 博

委員 山 野 則 博

委員 高 野 則 博

委員 山 野 則 博

